

第 19 回古代交通研究会大会

「移動を支えた人と場・道」

大会趣旨

古代交通研究会では、これまで陸上交通、水上交通の実態についてさまざまな視点から検討を加えてきた。近年では、第17回大会の「運河」、第18回大会の「複合遺跡のなかの駅家」などの新たな問題にも注目することで、古代交通の多様な側面の一端を明らかにすることができた。今回の大会ではこのような問題意識をさらに深化させ、移動を支えた人と場・道について多角的に検討する。

古代において人やモノが移動する時に、駅家以外に利用された場があり、移動を支えた人びとが存在した。この点について制度及び実態を明らかにし、古代交通史の視点から新たな古代史像を提示したい。

1 開催日 2017年6月24日（土）・25日（日）

2 会場

日本大学経済学部（東京都千代田区三崎町）7号館2階講堂

J R・地下鉄水道橋駅より徒歩3分、地下鉄神保町駅より徒歩7分（裏面地図参照）

3 日程と内容

第1日目（6月24日） 13:00～17:30 総会、事例報告

- ① 西村 力氏「宮城県大崎市団子山西遺跡」（陸奥国新田柵への道）
- ② 坂本嘉和氏「鳥取県鳥取市青谷横木遺跡」（山陰道とみられる道路遺構）
- ③ 江川幸子氏「島根県松江市魚見塚遺跡」（山陰道『出雲国風土記』の枉北道）
- ④ 宍道年弘氏「島根県出雲市杉沢遺跡」（山陰道『出雲国風土記』の正西道）

第2日目（6月25日） 10:00～16:30 シンポジウム

- ① 藤本誠氏「古代日本の交通と仏教施設」
コメント 河野保博氏
- ② 十川陽一氏「古代における道路・橋の維持管理」
コメント 井上正望氏
- ③ 渡辺 一氏「須恵器と『居館交易』～武蔵国入間郡に一事例～」
コメント 井上 翔氏

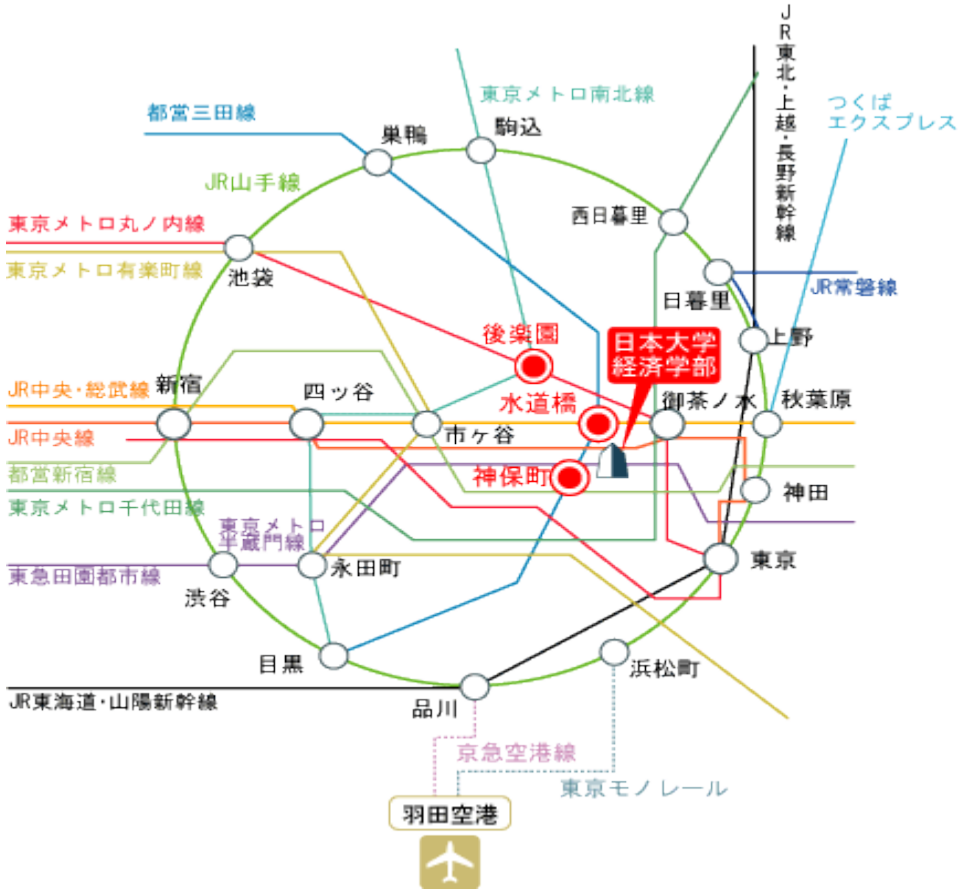
※報告タイトル等は変更になることがあります。

申し込みは不要ですが、当日の資料代は実費となります。

連絡先 武廣亮平（大会実行委員長） takehiro.ryouhei@nihon-u.ac.jp

<会場までのアクセス>

- JR中央・総武線，都営三田線「水道橋」駅より徒歩3分
- 都営新宿線，東京メトロ半蔵門線「神保町」駅より徒歩7分



<会場周辺地図>

